

1. 目的と概要

1.1 目的

厳しい経済情勢の中、国の研究開発投資についても、選択と集中が今後ますます強まることが想定され、大学がこれまで築き上げてきた知識基盤・研究インフラをいかに発展させていくかが、個々の大学にとって喫緊の課題である。そのため、各大学には、「研究経営システム」（競争的研究資金配分機関や企業、金融機関等の外部機関との連携・協力の在り方を含む、大学における研究経営資源（知的資産）を活用した大学経営のシステム）を抜本的に強化し、限られた経営資源（人、物、金、情報等のあらゆる資源）を最大限活用し、イノベーション創出に向けた産学官のイノベーション・エコシステム形成において中核的役割を担うことが求められる。

すなわち、各大学の強み・特色を最大限に生かし、自ら改善・発展する仕組みを構築することを目指し、持続的な競争力を持って高い付加価値を生み出す大学が今後求められているところであり、各大学が学長のリーダーシップの下、研究経営システムを確立することが極めて重要となる。

本調査は、我が国の大学において研究経営システムを抜本的に強化するための方策検討に資する基礎的な調査・分析を目的とした。

1.2 調査項目

大学の「トップマネジメント」による「知的資産（人材、資金、施設・設備、知的財産）」の全学的な「獲得と学内配分」を行う研究経営システムを調査対象とした。具体的には表 1-1 の項目について調査を行った。

表 1-1 調査項目

経営体制・戦略	研究経営に関する意思決定（トップマネジメント）は、どのような体制で行っているか。研究経営に関するビジョン・戦略が文書としてまとめられているか。
トップマネジメントを担う人材	研究経営に関する意思決定者はどのような属性・経験を持っているか。
研究人材のマネジメント	研究者の採用・育成・配置を誰がどのような情報を参照し、どのような考え方で決定しているか。
研究施設・設備のマネジメント	研究施設・設備をどのような財源でどのように整備しているか。誰がどのような情報を参照し、どのような考え方で決定しているか。
研究資金のマネジメント	研究資金をどこからどのように獲得し、誰がどのような情報を参照し、どのような考え方で配分しているか。
研究活動と知的財産のマネジメント	研究活動や知的財産のマネジメントに対して、何を従事しているか。

1.3 検討体制

有識者から構成される「我が国大学の研究経営システム確立に向けた国内外動向に関する基礎的調査 検討委員会」（以降、検討委員会）を開催して検討を行った。

表 1-2 我が国大学の研究経営システム確立に向けた国内外動向に関する基礎的調査 検討委員会（順不同、敬称略）

区分	所属・役職	氏名
委員長	政策研究大学院大学副学長	上山 隆大
委員	名古屋大学大学院教育発達科学研究科・教育学部 教授	阿曾沼 明裕
	東北大学 理事（研究担当）	伊藤 貞嘉
	東京大学 大学総合教育研究センター 教授	小林 雅之
	東京大学大学院理学系研究科 教授	菅 裕明
	大学評価・学位授与機構 准教授	林 隆之
	東京大学 理事・副学長	大和 裕幸

表 1-3 我が国大学の研究経営システム確立に向けた国内外動向に関する基礎的調査 検討委員会 開催日程

回	日時	検討内容
1	平成 27 年 8 月 20 日	本調査の目的と趣旨 調査全体方針の検討 国内研究機関へのヒアリング方針に関する検討 国外研究機関へのヒアリング方針に関する検討
2	平成 27 年 10 月 15 日	国内事例調査結果の検討 国外研究機関へのヒアリング方針に関する検討
3	平成 27 年 12 月 24 日	国外調査結果の検討
4	平成 28 年 2 月 17 日	研究経営システムモデルの検討

1.4 報告書の構成

1. 目的と概要

本調査の目的、調査項目、検討体制、報告書の構成について示している。

2. 研究経営システムモデルの方向性

国内大学調査、国外大学調査、文献調査によって得られた結果から、我が国の研究大学における研究経営システムモデルの方向性について示している。

3. 国外大学調査

米国、シンガポール、英国、スイス、ドイツのトップレベル大学について、文献調査及び訪問調査により、研究経営の先進的な取組を整理分析している。

4. 国内大学調査

国内大学について、文献調査及び訪問調査により、研究経営システム確立に向けた現状・課題・問題点、萌芽的取組を整理分析している。

表 1-4 調査対象大学一覧

国	大学名	文献調査	訪問調査
日本	東京大学	○	○
	東京工業大学	○	○
	岡山大学	○	
	慶應義塾大学	○	
	東京理科大学	○	
米国	カリフォルニア大学バークレー校 (UCB)	○	○
	カリフォルニア大学サンディエゴ校 (UCSD)	○	○
	スタンフォード大学	○	○
	カリフォルニア工科大学 (Caltech)	○	○
	ハーバード大学	○	
	イェール大学	○	
	シカゴ大学	○	
シンガポール	シンガポール国立大学 (NUS)	○	○
英国	マンチェスター大学	○	○
	オックスフォード大学	○	○
	インペリアル・カレッジ・ロンドン (ICL)	○	
スイス	スイス連邦工科大学チューリッヒ校 (ETHZ)	○	○
ドイツ	ミュンヘン大学 (LMU)	○	○
	ミュンヘン工科大学 (TUM)	○	
	カールスルーエ工科大学 (KIT)	○	

注) 訪問調査には、来日者に対するインタビューも含む。